

レイ大同窓会 守山・野洲支部 第23回歩こう会ご案内

北国街道木之本宿散策と豊臣兄弟ゆかりの木之本地蔵院参拝と御戒壇めぐり

2026年8月吉日 健康レクリエーション部会

木之本は北国街道の宿場町として栄えました。本陣宿や伝馬所、創業 450 年にもなる酒屋、醤油等江戸時代の面影が残る街です。眼の仏様、延命息災の仏様として信仰を集める「木之本地蔵院」の門前町でもあります。裏山は賤ヶ岳合戦の実質的本陣で、羽柴秀長の陣所田上山砦のあった所です。同時代には信長の馬揃えで名を挙げた山内一豊が名馬を買い求めたと伝わる牛馬市がありました。名物の「サラダパン」で知られる「つるやパン本店」、「七本鎗」の「富田酒造」など老舗の酒蔵や醤油蔵もあり、趣ある景観が保たれた歴史と食を楽しむ散策路となっています。今回はこのような街並みをゆっくりと散策します。

1.実施日 2026年10月26日(月) 雨天決行

・当日午前7時に滋賀県に警報が発表されている場合は中止

・体調不良を感じる方はご無理無きよう。ただし、欠席のご連絡は早めをお願いします。

2.集合場所 JR 木之本駅改札口前

3.集合時刻 午前9時30分

参考:JR 守山駅 8:19 発・JR 野洲駅 8:22 発⇒JR 木之本 9:23 着

4.参加費 300 円(拝観料・保険料を含む)当日木ノ本駅にて集金

5.歩行距離 約 1.5km ボランティアガイドさんの案内を聞きながら約 2 時間の行程です。

6.持ち物 飲み物、帽子、雨具、JR 電車賃(ICOCA カード)等

7.行程

JR 木之本駅(挨拶・準備体操)9:40 出発⇒(500m8 分)⇒意富布良神社⇒(230m4 分)⇒牛馬市の里⇒(180m3 分)⇒木之本地蔵院⇒(60m1 分)⇒つるやパン⇒(22m1 分)⇒富田酒造⇒(500m7 分)⇒JR 木ノ本駅 11:40 着

8.見どころ

・北国街道木之本宿

江戸時代に旅人や荷物の輸送を担う問屋や伝馬所が置かれました。特に室町時代から続く老舗の造り酒屋「山路酒造」が脇本陣と伝馬所を兼ねており、現在も歴史ある町並みを伝えています。地蔵院の門前町として栄え、北国街道と北国脇往還が交わる宿場町で、旅人と木之本のお地蔵さんの参拝客で賑わいました。木之本宿には昭和の初めまで中央に小川が流れ、柳の木が植えられた宿場らしい風情を残していましたが、今では埋め立てられ、商家の家並みに昔の情景を残しています。

・意富布良(おおふら)神社は

飛鳥時代の白鳳 4 年(676 年)に創建されたと伝わる歴史ある古社です。建速須佐之男命などを祀り、古くは武運長久の神として木曾義仲や足利尊氏などの武将からも厚い信仰を集めました。時期が合えば紅葉もきれいです。

・牛馬市の里

室町時代から昭和の初期まで、街道筋の民家を宿として牛馬市が開かれていました。山内一豊が妻の機転で買い求めた名馬もここからと伝わっています。

・木之本地蔵院(浄信寺)

木之本にある時宗の寺院。公式の寺号は浄信寺ですが、一般には「木之本地蔵院」の名で知られています。本尊は地蔵菩薩(秘仏)です。境内には秘仏本尊の写しである高さ約 6 メートルの地蔵菩薩大銅像があり、これは日本三大地蔵の一つとされています。また、庭園に棲むと言われる「身代り蛙」が、眼病患者が回復するよう願をかけ、片方の目をつむり暮らしていると言われていました。「御戒壇巡り」も楽しみ！

・富田酒造

銘柄は秀吉を天下人へと導いた七人の若武者「賤ヶ岳の七本槍」にちなむ。ラベルの文字は魯山人の篆刻を使用。地元農家に特別に作っていただいている酒造好適米(減農薬無化学肥料米)を使用して製造。

9.参加申込

参加希望者は 10 月 10 日(土)までに各班担当理事宛お申込ください。

参加申込先 担当理事: _____ eMail: _____

各班担当理事さまは「10 月 13 日(火)までにメールにて健レク部会長近松清司宛お知らせください。

近松清司:lake-biwa@nifty.com

なお、各班の参加お申し込みは会員からのお申込後締め切りを待たずに随時お知らせいただいても OK です。

以上

木之本地蔵院

地蔵菩薩像

《当日のお問い合わせ先》

近松清司 090-3053-0999